



那須塩原・リンツ

音楽の都が祝う新年 ♪ オーストリアのお正月

あけましておめでとうございます！皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げます。オーストリアでも日本と同様に、1月1日に新しい年を迎えました。今回のニュースレターでは、オーストリアの年末年始の過ごし方を紹介したいと思います。

オーストリア、特に首都のウィーンは、「音楽の都」として知られていますが、その名にふさわしく、お正月にも音楽に関する習慣や風習がいくつかあります。まず12月31日には、ウィーン国立歌劇場をはじめ全国の劇場でオペレッタ（喜劇）「こうもり」が上演されます。ヨハン・シュトラウス2世が作曲したこの有名なオペレッタは、賑やかなパーティーが舞台の物語です。その内容が大晦日の気分にぴったりなため、年末の定番になったと言われています。



zeitfänger at via flickr



Stadt Wien Marketing/Jobst

オーストリアでは31日の夜、友人や恋人と一緒にパーティーへ出かけるのが一般的です。リンツ市の中央広場でも、毎年、午後から深夜まで多くの市民がコンサートを楽しめます。そのリンツ市の様子をご覧になりたい方は、インターネットで「Happy New Linz」と検索してみてください。そして、午前0時になると「美しく青きドナウ」が流れ出し、街のいたるところで人々がワルツを踊り始めます。夜空に打ち上がる花火の下でワルツを踊る光景は、オーストリアならではの特別な風景です。

元日はオーストリアでも祝日です。朝食にスモークサーモンとシャンパンを楽しみながら、テレビでウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のニューイヤーコンサートを鑑賞する人が多くいます。ニューイヤーコンサートは毎年1月1日にウィーン楽友協会の黄金大ホールで開催され、その様子は世界中で放送されます。アンコールには、ヨハン・シュトラウス1世が作曲した「ラデツキー行進曲」が必ず演奏され、観客が曲のリズムに合わせて手拍子をするのが恒例となっています。



Roman Zech-Kiesling, picturepresse.com

ちなみに、「美しく青きドナウ」の作曲家はヨハン・シュトラウス2世です。ヨハン・シュトラウス父子が、まさにオーストリアのお正月を象徴する作曲家といえるでしょう。

オーストリア文化クイズ

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のニューイヤーコンサートは、どのホールで開催されますか？

A : 白銀大ホール

C : 水晶大ホール

B : 真珠大ホール

D : 黄金大ホール

(回答は4ページへ)

今年もよろしくお願いします。





那須塩原・リンツ

姉妹都市交流

西那須野キッズハウス＆クロイツシュヴェスター幼稚園

西那須野キッズハウスとリンツ市にあるクロイツシュヴェスター幼稚園は、2023年から国際交流を続けています。10月には、西那須野キッズハウスに新しいアルバムが届きました。「私たちの幼稚園での最後の1年間」というタイトルが付けられたアルバムには、卒園を控える子どもたちの生き生きとした活動の様子が、たくさんの写真で紹介されています。リンツ市の子どもたちが園にお泊りしたり、救急車の乗車体験をしたりする姿を、那須塩原市の子どもたちも興味津々で眺めていました。特に、オーストリアにもサンリオキャラクターの「クロミ」が好きな子がいることを、驚き喜んでいる様子が印象的でした。



国際交流員活動報告

詳細はこちらへ



前回のニュースレターを発行してからこの3ヶ月間、那須塩原市の国際交流員として、オーストリアの文化を紹介する機会を多くいただきました。これからも皆様からの派遣依頼を心よりお待ちしております。



共英小学校でのオーストリア舞踊体験

12月11日、共英小学校の6年生を対象に「オーストリア伝統ダンス体験事業」を開催しました。今回は、手で足を叩く独特な動きが特徴の「シュープラットラー」に挑戦しました。はじめに基本のステップを練習し、最後に音楽に合わせて全員で踊ると、児童の皆さんには大いに盛り上がりました。



那須塩原・リンツ

「エーデルヴァイス」とのドイツ語講座と料理教室

11月11日、ドイツ語学習団体「エーデルヴァイス」の講座に参加し、故郷について紹介させていただきました。オーストリアとドイツにおける発音の違いなど、ドイツ語にまつわる興味深いお話しでき、楽しい時間となりました。また12月9日には、オーストリア料理教室を開催し、伝統料理の「シュペッツレ」を皆で作りました。試食した後には、オーストリアのクリスマス文化について語り合い、良い思い出となりました。



埼玉フェスティバル

12月5日、埼玉小学校で、児童が地域の方々と交流する「埼玉フェスティバル」が開催されました。私は「オーストリア・ブース」を担当させていただきました。児童たちはグループごとに各ブースを巡り、私のブースでは「オーストリア弁当クイズ」に挑戦してもらいました。オーストリアではひじきを食べないと知り、驚いている子どもたちもいましたが、皆楽しみながら他国の食文化について学んでいました。



稻村公民館でのクリスマスクッキー作り

クリスマスシーズンに合わせ、12月16日に稻村公民館の「やしお学級」で、オーストリアのクリスマスに欠かせないクッキー作りを行いました。リンツ市名物の「リンツァーアウゲン」と、バニラが香る「バニレキップフェル」を参加者の皆様と一緒に焼き上げ、オーストリアのクリスマスの雰囲気を感じていただくことができました。





那須塩原・リンツ

西那須野公民館でのクヌーデル作り

12月19日、西那須野公民館の市民大学連携講座「世界のごはん」にて、料理教室の講師を務めました。オーストリア家庭料理で肉まんのような「クヌーデル」と「温かいキャベツのサラダ」を調理し、日本では馴染みの薄いスパイス「キャラウェイ」や「白ワインビネガー」が生み出す独特な味わいを楽しみました。



国際交流員レナさんが
不思議だと思う日本文化：
クリスマスケーキ



皆様、楽しいクリスマスを過ごされましたか？オーストリアにおいて、クリスマスは1年で最も大切な行事の一つです。家族と一緒に家でのんびり過ごす3日間となります。私にとって12月24日～26日に、いつも通り仕事へ行くことがどこか不思議な感覚でした。



オーストリアと日本では、クリスマスに食べるのも大きく異なります。私が初めて日本に来た時に一番驚いたのは、クリスマスケーキでした。まず、冬に新鮮な果物が手に入りにくいヨーロッパでは、いちごがクリスマスと結びつくイメージがなかったからです。オーストリアでも「シュトレン」などドライフルーツを使ったスイーツは食べますが、いちごのデコレーションは新鮮な驚きでした。

また、オーストリアではケーキよりもクッキーの方が伝統的なクリスマスの主役です。クリスマスの2週間ほど前からクッキーを大量に焼き、12月25日まで毎日少しづつ味わう習慣があります。

ちなみに、今年は、日本のクリスマスを楽しみました。クリスマスケーキも食べましたが、とても美味しかったです！ただ、オーストリアのケーキの直径は26～28cmが一般的なので、日本のケーキは少し小さく感じてしまいました(笑)。



発行：那須塩原市市民生活部市民協働推進課（担当：ミルト・ヴェレナ）

事務局：〒325-8501 栃木県那須塩原市共墾社 108-2

TEL：0287-62-7019 FAX：0287-62-7500

Eメール：shiminkyoudou@city.nasushiobara.tochigi.jp

バックナンバー・ドイツ語・英語編：

https://www.city.nasushiobara.tochigi.jp/kurashi_tetsuzuki/shiminsankaku/kokusaikoryu/3/8553.html



クイズ回答:D